

ポテト研究会



集団・個人名	ポテト研究会
代表者名	島田 三郎
連絡先住所・電話番号	高梁市川面町735 (0866-26-0582) (事務局)
作 目	バレイショ
作 型	春作・秋作
栽培時期	春作2月～6月、秋作8月～12月
面積	春作10a、秋作10a
節減対象農薬（使用回数）	栽培期間中節減対象農薬不使用
化学肥料（窒素分量）	春作：県慣行レベル比5割以上減、秋作：10割減
出荷時期	春作6月～、秋作12月～
主な販売先	J Aびほくグリーンセンター、神楽の里フレンドショップ、高梁ふるさと特産ゆめ市場、県内外の飲食店等
特栽培組の動機	平成16年の設立以来、初代会長の遺志を引き継ぎ、高齢者や子供が安心して食べられるよう栽培期間中農薬の使用を減らした栽培に取り組んでいる。平成19年に県の慣行栽培の基準ができたため、特別栽培として販売できるようになった。
栽培の特徴	窒素を押さえた施肥により、肥料由来でなく光合成由来の旨いバレイショづくりを目指している。緑肥を活用してそうか病対策や連作の回避、土のコンディション作りを行い、肥料や農薬の使用量を減らしている。また、数種類のバレイショを作付けすることにより、消費者ニーズへの対応とリスクヘッジを行っている。
経営方針	省力・低コスト・高付加価値・低環境負荷をバランスよく追求し、続けたい農業を目指している。
販売方針	最新品種を含む多品種を販売し、最適品種を用途毎で使い分けることを提案している。また、多忙な主婦には剥皮の容易な品種や煮崩れの少ない品種を勧め、飲食店には客とのコミュニケーションのきっかけとなるような個性的な品種を提案している。
今後の取組	高齢化や作業参加者の減少などの課題があるが、緑肥主体の土づくりや、遊休地のローテーションなどで、環境負荷の抑制や耕地の省力管理とあわせて続けていきたい。

- * このページは、令和2年1月時点の情報で、生産者が記入あるいは岡山県が聞き取ったもので、基本的にそのまま記載しています。情報に関する正しさ、妥当性に関して岡山県は確認していません。
- * このページは、生産者情報を公開するものであり、商品の購入・受け渡し等を目的としていません。商品の売買は、生産者あるいは販売業者との間で直接行ってください。
- * このページの利用により不利益が生じた場合に、岡山県は責任を負いません。